

新居浜ロータリー会報

JANUARY
2020

1



「とうどさん」

● クラブ基本方針
《'19 - '20》

足元を見つめ直し、ふるさとに貢献しよう

● 国際ロータリーテーマ
《'19 - '20》

ロータリーは世界をつなぐ

目		次	
上期回顧	4	私の職業弁護士	9
地区大会報告	5	第15回新居浜市小中学生科学奨励賞発表会	10
地区大会報告—本会議第1日目から	5	郡山市の災害ボランティアに参加して	10
がんゲノム医療	6	わが社の強み	11
ロータリークラブに入会して	7	例会記録・ニコニコBOX	12

◆◆◆◆ 2019年12月・2020年1・2月例会と行事予定 ◆◆◆◆

12月(疾病予防と治療月間)		1月(職業奉仕月間)		2月(平和と紛争予防/紛争解決月間)	
5日	・定時総会 ・内部卓話 ・情報雑誌 ・会員スピーチ	2日	特別休会	6日	・外部卓話(青少年) 「新居浜市小中学生 科学奨励賞発表会報告」
12日	・下期プログラム ・会員スピーチ ・クラブフォーラム (分類・増強委員会担当) (戦略計画委員会合同)				13日
19日	・【夜間例会】(18:30～) ・会長上期回顧	9日	・会長年頭所感 ・内部卓話(情報雑誌)	16日	
26日	特別休会	16日	・会員スピーチ 妻鳥孝行 ・会員スピーチ 米谷方利	20日	・RAC活動報告及び寄付金贈呈 (RACより社会福祉協議会へ) ・情報雑誌
17日		・新居浜RC創立記念日 ・カレンダー配布(社会奉仕) ・IACの奉仕活動への参加	23日	・職業奉仕功労者表彰 外部卓話(職業奉仕)	27日
		30日	・内部卓話 ・新入会員(長田伸一郎) ・予算中間報告		
		11日	・令和元年度新居浜市小中学生 科学奨励賞発表会(青少年)	15日	・愛媛第I分区IM (リーガロイヤルホテル新居浜)
				23日	・PETS・DTTS (サンポートホール高松)
				23日	・ロータリー創立記念日 ・世界理解と平和週間(2/23-3/1)

2019-20年度

12月中の出席成績

(平均100%)

区分	会員数	出席 会員数	欠席 会員数	当日 出席率	メー キャップ	修正 出席率	来訪ロー タリアン
例会日							
5日	64	56	8	87.50%	8	100%	1
12日	64	43	21	67.19%	21	100%	0
19日	64	49	15	76.56%	15	100%	0
合計	192	148	44		44		1 (カード 19)
平均	64	49.3	14.7	77.03%	14.7	100%	累計 (カード 39)

定例理事会報告

幹事 長 岡 一 路

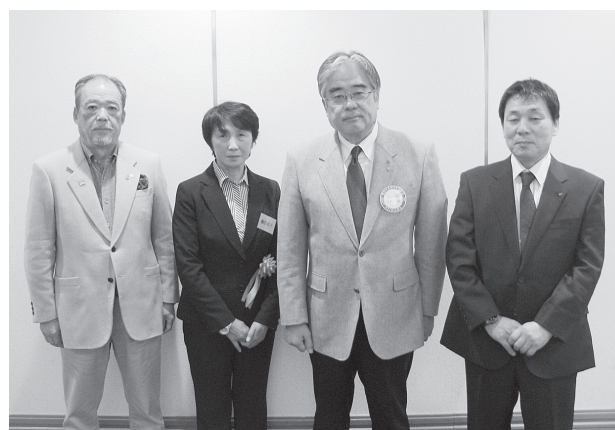
日 時：令和 元年12月12日(木) 12:00～
場 所：リーガロイヤルホテル新居浜
諮問人員：9名

議題および内容
1) 下期プログラム(案)について
2) IM登録(全員登録)について

と き ❖ 今月のこの瞬間 ❖



■ 1月11日 新居浜市小中学生科学奨励賞発表会 ■
(県総合科学博物館多目的ホール)



■ 1月23日 職業奉仕功労賞表彰 ■

上期回顧

青 野 正



上期の活動について改めて回顧してみたいと思います。

最初のプログラムは、国際奉仕の短期交換学生の受け入れで、7月6日10時から松山全日空ホテルで受け入れセレモニーがあり、地区委員の日野会員・国際奉仕委員長の佐々木会員・長岡幹事と近藤・小野ホストファミリーに参加をしていただき午後には夫々のご家庭にお連れ頂きました。7日はそれぞれの家庭で行動し8日は畑田会員の工場見学と西高IACとの交流会には大生院中学との交流会と南クラブをお願いをして、例会への公式訪問をさせていただき、17時30分からRRH(龍鳳)にて送別会をおこない、10日10時に送り出しをし、無事プログラムを終了いたしました。

7月11日には文化センターでの中学生弁論大会が行われ小野副会長と垂水委員長に参加していただき18日の合同例会で第一席喜代吉千編(泉川中)、第二席藤田百々笑(中萩中)、第三席岩本天寧(別子中)の三人を迎えスピーチをして頂きました。28日は恒例の市民一斉清掃があり松尾委員長以下22名の参加をいただきました。8月1日は、IAC年次大会の報告を星加萌愛委員長と山内顧問に報告して戴き22日には、西高IAC小野綾夏さんから短期の留学について帰国報告をして頂きました。29日は、人間尊重の近藤委員長による外部卓話にて佐伯康人(株)パーソナルアシスタント青空代表にお話しいただきました。9月19日はライラセミナーの報告を石村孝哉氏(桑原運輸)、

清家千尋さん(新居浜市役所)お二人にして頂きました。10月10日は、米谷米山委員長により米山奨学生ホアティトウイユン(ベトナム)さんから報告を受ける。12~13日には、秋の遠足に出かけました。加藤委員長・西岡副委員長のきめの細かいサービス精神により参加者25名秋の味覚マツタケやカキ等を美味しくいただき全員無事に帰ってきました。31日松尾社会奉仕委員長による社会奉仕功労者表彰を三木ユリエ(新居浜市母子寡婦福祉連合会会長)に授与した。11月14日は淡交会新居浜支部の金村宗裕幹事長以下10名の皆様によるお茶の会、楽しくまた美味しくいただきました。21日は一宮会員の案内で、一宮運輸(株)DK新居浜流通センター様に仕事にお邪魔してAIを使った最新の工場システムを見学させていただきました。22日~24日は地区大会が徳島で開催され21名の会員と夫人一名が参加しそれぞれの立場で責務を果たして頂きました。

経験豊かな会員のスピーチにつきましては畑田会員をはじめ、嶋田・松田・安藤・神野・永田・村上・高橋正明会員の8名の皆様から、これまで経験されてきた実績を踏まえて中身のあるとても素晴らしいお話をいただきましたが、私共運営サイドの不手際で持ち時間が不安定になりご迷惑を掛けましたこと、お詫び申し上げます。

上期の反省点を確認し、理事の皆様と相談し下期の例会運営をしっかりと実践してまいりたいと思いますので、会員の皆様には引き続きご指導いただきますようお願い申し上げます。

地区大会報告

伊 東 省 司



今年度の徳島で開催された地区大会には、前日の財務委員会、R I 会長代理歓迎晩餐会、1日目午前中の会長・幹事会、午後から2日目にかけての地区大会全ての行事に参加させて頂きました。

晩餐会や懇親会などのアトラクションでは、徳島ならではの「阿波踊り」が披露され、会場が盛り上がり、華やかな雰囲気になりました。

1日目の大会では、大島ガバナーからの挨拶で、「ロータリーは世界をつなぐ」のテーマが実現されることを願っていると申されてました。

飯泉知事や遠藤市長のご来賓を迎え、現状報告や奨学生長期交換学生、インターアクト、ロータリーアクトの紹介や挨拶があり、あらためてロータリー活動の幅広さを感じた次第です。

基調講演では、ロータリー平和センターの山崎敬生ホストエリア・アドバイザーから「世界平和に貢献するロータリー平和センター」の話があり、ポリオ根絶活動と共に重要な世界平和に向け

た活動として、ロータリー平和フェローが平和と紛争解決に活動している状況を知ることができました。

2日目は各クラブの表彰があり、新居浜ロータリークラブは出席率100%と地区大会全員登録で受賞しました。

記念講演は、小泉元総理による「日本の歩むべき道」と題して、原発をゼロにして、安全で安心して暮らせる国づくりを目指すべきだと強調されておられました。

3日間を通じてロータリーの素晴らしさと良きロータリアンとしての自覚を感じた次第です。



地区大会報告一本会議第1日目から

藤 本 毅



新居浜での地区大会から1年余り。国際ロータリー第2670地区2019—2020年度地区大会が11月22～24日の3日間、徳島市であり、そのうち23日の本会議第1日目に参加した。時に新居浜の模様を頭の中でよみがえらせつつ、ともかく昨年のように記録誌用の原稿集めやテープ起こしにさいなまれることもないので、心穏やかに地区の現況や各地の取り組みを学ばせていただいた。

本会議は徳島文理大生36人による阿波踊りと地元シンガー・ソングライター福富弥生さんによ

る歌「ここにしかない徳島」で開幕。地域色豊かな演出に、今年の太鼓台を思い浮かべ、先輩会員の皆様の大変なご苦勞のかいあって披露できて良かったとかみしめた。

プログラムはよく準備されていた。これを新居浜RCもやり遂げたのだ一と感慨もこみ上げる。日程が押したため最後の基調講演を聞けず辞去したのは残念だったが、講演前に休憩するまで3時間半休みなしというハードスケジュールかつ密度の濃い大会だった。

詳しい中身はあとで発行される記録誌に譲るとして、2点ご報告したい。

一つは女性の活躍ぶり。ホストクラブを務めら

れた徳島プリンスRCの佐渡三智子会長は歓迎あいさつで「ダイバーシティ（多様性）を生かすことがロータリーにますます求められる」と述べたうえで、徳島商工会議所、徳島経済同友会、徳島県経営者協会の主要経済3団体のトップが全国で初めてすべて女性となったことを紹介した。昔から徳島の女性は働き者の「阿波女」と呼ばれるという。ほかならぬ佐渡会長自身も女性である。

大会記念事業の発表では、高木博代委員長が、乳がん検診を促す「徳島ピンクリボン集会」を徳島大との共催で9月、女優の原千晶さんらを招いて開いたことを報告した。これも女性が主導すればこそその発案だったろう。

また今回の登壇者に限ってはあながち、米山記念奨学生は17人のうち13人が女性、長期交換学生は四国から海外へ派遣した3人も、海外から四国へ来ている6人もすべて女性だった。各RCにはそれぞれの成り立ちや事情、考えがあり、それも尊重すべきダイバーシティだと思うので特に所感はないものの、大会としては女性の活躍が随

所に見られた。

もう一つは会員増強。あいさつと現状報告に立った田中作次RI会長代理がヒントを語った。その名も「5人運動」。

だれしも親しい友人に会員になってくれとはお願いしづらい。そこで「ロータリーって知ってる?」「知ってるよ」「君の友人でだれか会員になってくれそうな人を紹介してくれないかな」と話を展開すると、言われたほうは自分に入ってくれと頼まれたのではないから気が楽になる。同じことを友人5人に言うと、2割の確率で「私じゃだめですか」と友人本人が申し出る。このように言いたいことを言うためあえて回り道をするんですという田中RI会長代理の説に、参加者の多くが笑い、深くうなずいた。

どちらもロータリーの枠を超えた普遍的示唆をはらむ話で、それに触れられただけでも参加した意義があったと思う。このような機会をいただきありがとうございます。そして、記録誌編集担当者様、陣中お見舞い申し上げます。

【内部卓話】

がんゲノム医療

鈴木 誠 祐



2003年にヒトゲノムが解析されて以来、ゲノム（DNA）解析にもとづくゲノム医療は急速に発達している。ゲノム医療にはゲノム生殖医療、ゲノム再生医療、がんゲノム医療などがある。

人の細胞の中心にある核には23対の染色体が存在するが、この染色体の本体がDNAである。DNAはA:アデニン、T:チミン、C:シトシン、G:グアニンの4つの塩基が順に配列された鎖が二重らせん構造になって構成されている。遺伝子においてはこのDNAのATCGの塩基4つのうち、3つの組み合わせで1つのアミノ酸が合成されるようにプログラミングされ、合成された20種類のアミノ酸がヒトのタンパク質を合成している。つまり、遺伝子がヒトの体を作る設計図であり、その設計図から合成されたタンパクがヒトのからだを形作っている。しかし、ヒトのDNAのうち、遺伝

子が記録されている部分は1.5%とごくわずかである。この遺伝子が記録されている部分のDNAと記録されていない部分のDNAを合わせて（すべてのDNA）をゲノムという。

発がんは加齢、たばこ・アルコールなどの発がん物質により、遺伝子が傷ついて設計図がくるってしまった結果、誤ったタンパク（材料）ができてしまうことである。たとえば遺伝子の塩基配列がGAT-CTA-GCCの遺伝子で突然変異が起これ、下線部のCがTに代わるとCTAからできるアミノ酸がTTAからできるアミノ酸に変わって異常なタンパク質が作成されてしまう。また、下線部のCが欠損した場合にはCTAからできるアミノ酸がTAGからできるアミノ酸に変わって異常なタンパク質が作成されてしまうことで異常な細胞ができてしまう。こうして異常を持った細胞ができるとがんの方向へ一歩進む、このような傷ができて発がんの方向へ進める遺伝子をがん遺伝子と呼び、複数のがん遺伝子の影響で細胞に異常が積み重なるこ

とでがん化がおこる。このような遺伝子の変異は日常茶飯事に起こっており、1日に1細胞あたり、数万か所以上とも言われている。さらに体内に発生するがんは1日に数千個といわれている。しかし、ヒトには発がんを防ぐ仕組みがあり、発生したほとんどの遺伝子の傷はDNA修復遺伝子で修復され、発生したほとんどのがんはがん抑制遺伝子やがん免疫担当細胞により死滅する。このがん化を防ぐ重要な役割をする遺伝子ががん抑制遺伝子で、細胞を死滅に導くP53遺伝子、DNAを修復するMLH1遺伝子、細胞の増殖を抑えるRB遺伝子などがある。このがん抑制遺伝子がたばこなどの発がん物質で傷つくと発がんを防ぐことが難しくなり、さまざまながんになりやすくなる。

従来のがん治療薬は、がんの増殖能力に着目し、増殖の激しいがん細胞を攻撃することで効果を発揮するが、正常の細胞でも増殖の盛んな細胞は障害を受けるという副作用を持っていた。近年、がん増殖や転移のメカニズムを分子レベルやゲノムレベルで解析することによって開発された分子標的薬が各種がんに対して次々と登場している。これらの分子標的薬は、がんの増殖を阻害することで効果を発揮する機序のものが多い。細胞増殖は細胞膜外に突出する増殖因子受容体に増殖因子が結合することで始まる。正常細胞では必要な時にしか、増殖因子受容体と増殖因子が結合しないが、がん細胞の受容体は増殖因子を次から次へとキャッチするように変質しており、がん細胞がどんどん増殖・活性化する。分子標的薬はこの細胞膜外に突出する増殖因子受容体に結合することで増殖因子受容体に増殖因子が結合することを

阻害する。

がんゲノム医療は遺伝子が傷つき、誤ったタンパクができることが発がんの原因であることに對して、遺伝子の傷を見つけて、それを修復することで発がんを防ごうというものである。手術・放射線治療・化学療法など標準治療(科学的に有効性が評価された治療)がないか終了した患者に対して保険が認められている。がんの遺伝子を網羅的に解析(がん遺伝子パネル検査)して、その結果に基づいて治療を考える手法である。岡山大学病院はがんゲノム医療中核拠点病院となっており、がんゲノム外来に患者が紹介されるとがんの遺伝子情報を解析(がん遺伝子パネル検査)し、その結果を多種職で構成される会議で検討して、結果の説明や治療を行うという流れでがんゲノム医療を行っている。近年、リキットバイオプシー(液体材料を用いた生検)の手法・遺伝子シークエンサー(遺伝子解析装置)の発達が目覚ましく、これらの莫大なデータをAIで解析することより、血液で遺伝子診断ができるのではないかと期待されている。

がん免疫にはマクロファージ、抗体、キラーT細胞、ナチュラルキラー細胞などが関与している。これらの細胞が、1日に数千個以上といわれる体内に発生するがんを退治して、体を守っている。現在注目を集めている免疫チェックポイント阻害薬はがんが抑制しているT細胞の機能を復活させることでがん免疫能を賦活する。ヒトの持っている発生したがんを死滅させる免疫能を取り戻し、がんを治療するという新たな観点に立った治療法である。

【会員スピーチ】

ロータリークラブに入会して

村 上 正 純



1. ロータリークラブに入会した経緯
2. 尾部さんから受けたレクチャー
3. 四国千種会と全国千種会
4. 時代の変化
5. 現在のロータリークラブに感じていること

1. ロータリークラブに入会した経緯
 - ・東京、大阪で会社勤めを15年間経験し、地方での会社の活動範囲を知らないまま20年振りに新居浜へ帰ってきました。
 - ・自分の仕事の業界活動は少し分かっていましたが、当然、地方都市(地域の活動の会のなんと多いことか)ロータリークラブ、ライオンズ、商工会議所の活動内容は知りませんで

した。

- ・そんな中、加藤隆一前社長の友人からライオンズクラブへ入会のお誘いがありましたが、尾部工業(尾部輝光社長)より、「浜栄港運は初代加藤秋年社長も、二代目加藤隆一社長もずっとロータリークラブに在籍している。馬鹿なことをするな、ライオンズは断りなさい」とアドバイスを受け、尾部さんの推薦で平成元年6月に入会しましたが、入会当初はロータリークラブとは何かよく分かりませんでした。

2. 尾部さんから受けたレクチャー(新居浜ロータリークラブの伝統と格式)

- ・昔からみんな仲が良い(ロータリークラブの精神)

事例として、ガバナーにふさわしくやってみようという会員が居るが出せないクラブもある。

- ・政治家(議員)の入会を認めない。選挙が人間関係に弊害を生む。
- ・四国最初のロータリークラブ設立の話(四国最初のクラブ設立は新居浜に話があった)。
- ・地区大会、IM、奉仕実践活動は勉強になるから積極的に参加しなさい。
- ・例会出席の必要性

ロータリークラブは優秀な職業人の社交クラブである。教えられることも多いが、教えてあげることもあるので例会出席が重要である。米山梅吉先生がよく言われていた「ロータリークラブは人生の道場である」と。

但し、例会(会合)の出席よりも仕事優先。何故ならロータリークラブは職業人の集まりであるから、会社がなくなればRCも退会しなければならない。

- ・ロータリークラブの組織は横型並列組織である(会社は利益追求のため縦型組織)。

RI(地区)の役員(ガバナーも含め)には命令権がなく一年一年の役割に過ぎない。命令権があるのは会費の徴収(人頭分担金)と25人以下のクラブ運営のみであり、ロータリークラブの組織管理は連絡調整だけである。 (他地域ではガバナー経験者が偉くなったと勘違いし、混乱している

クラブもある。)

- ・新入会員の推薦は次の3つの事を考えて推薦しなさい。

- (イ) その業界のリーダー的な人
- (ロ) その会社の所在地近くの評判が良い人
- (ハ) クラブ内で相談しなさい

新居浜ロータリークラブは、これらの事が出来ているので退会が非常に少ないのだと思います。

(退会防止委員会の設置をしなければならぬ現状は、RIの怠慢だと思う。)

中山先生(父)、井石先生(父)、三木先生、永易先生、尾部さん、天野さん、森実さん等、よく勉強されていて、(新居浜ロータリーの冊子も作られていた。) 堅苦しいところもありましたが、率先して四国のロータリークラブを引っ張っていらっしゃいました。

IACやRACは四国で最初に設立。社会奉仕、青少年奉仕、国際奉仕活動の発案に積極的でした。今、定着している市民一斉清掃等は新居浜ロータリークラブの発案と聞いています。

年間プログラムに隙間がなく、新規プログラムを入れるのに苦勞されているのは、活動が当初より充実していたからだだと思います。

3. 四国千種会と全国千種会

千種会(小堀憲助先生主催)は、全国で9ブロックに分かれ四国千種会(会長・尾部さん、幹事・天野さん)に尾部さんの奨めで入会し、平成元年から20年間勉強しました。(小堀先生が病気になり休止、死去により解散)

【講義科目】

- ① ロータリーの思想
- ② ロータリー組織管理論
- ③ 世界ロータリー史
- ④ 日本ロータリー史
- ⑤ 職業奉仕論
- ⑥ 社会奉仕論
- ⑦ 国際奉仕論
- ⑧ 青少年奉仕論
- ⑨ 規制審議会の変更内容の説明

人は直ぐ忘れるので2年サイクルで何回も復習しなさいとの事、年4回(1回/8時間講義、2年で一回り)。

2年に一度、全国研修会があり金沢、仙台、唐津に行きました。四国千種会には、パストガバ

ナー、ガバナーエレクト、ガバナーノミニーの方々が多く参加されていました。

小堀先生は口が悪く、ガバナー経験者を馬鹿にしているところがありました。三宅徳三郎先生の事は悪口を言いながら、ガバナーらしいガバナーだと褒めていました。家族で洋三ガバナー、俊三ガバナーと3人のガバナーを輩出していることでも分ると。

又、小堀先生は全国のバスターガバナーの内、半数以上が千種会出身者だということをおぼろげに自慢していました。

全国千種会を通じてRI理事経験者や深川先生、岡平先生とお会いできたことは大変有意義でした。ただ、熱心な千種会会員の人から送られてくる資料は本棚に積み上げられたままになってしまいました。

4. 時代の変化

交通網の発達により、会員の皆様の仕事内容、行動範囲が広がった為、ホームクラブの出席が昔と比べると難しくなってきた。以前は南、西条、東予、その他クラブで例会出席をしてメーキャップしていたが、他クラブの夜間例会、移動例会が多くなったこと

と、新居浜クラブのクラブ協議会、家庭集会在がメーキャップの対象になったことや、メーキャップ期間が1週間前後から2週間前後になったことで今はカードのメーキャップで済むようになって楽になった。

5. 現在のロータリークラブに感じていること

RIの方向訳が分からない

- ① 1業種1会員(基本)から1業種5会員へ
- ② 新世代→青少年奉仕へと活動内容が変わらないのに名称がコロコロ変わる。
- ③ 拡大と増強は必要だがしつこい→金集めの為の様に見える。
- ④ 四大奉仕より国際奉仕の小委員会であるロータリー財団活動に力を入れ過ぎている。
- ⑤ 実践の活動に力が入り過ぎている。理論よりも実践活動か?(本来、理論があって実践活動のはずが、本末転倒だと思う。)ロータリークラブの知名度向上の為かもしれないと思うが。

今年の地区大会で大島ガバナーが研修もして下さいと言われておられたが、何か感じられているのかも知れません。

【会員スピーチ】

私の職業弁護士

高橋 正 明



私が本会に入会したのは、1990年6月7日で、現在の会員数62名の中では11番目の入会になります。

入会当時は非常に規律正しい先輩会員が多くおられ、緊張感が漂う例会だったと記憶します。

入会した時は同業の方はおられず、それまでも同業者が入会したことはない聞いています。それは、そもそも全国的に弁護士の数が少なかったからだと思えます。

弁護士になるには、国家試験の司法試験を合格し、さらに、司法研修所を卒業しなければなりません。

司法試験の合格者数は、私が入会した平成2年頃までは一貫して年500名以下でした。しかし、その後急激に合格者数が増えましたが、弁護士の数が多くなりすぎという反省から、平成30年には合格者数を減らして1525名になっています。

このように合格者が増えたのは、法科大学院制度の導入があったからです。

司法試験を合格し、研修所を無事卒業した者は、希望で裁判官になったり、検事になったり、弁護士になったりします。しかし、合格者数が増えても、裁判官や検事の数に合わせて130名位なので、1525名が合格しても1400名は弁護士になるので弁護士の数が多くなり、苦勞して弁護士になっても食べていけない弁護士も出ているやに聞いています。

私は愛媛弁護士会に所属していますが、入会当時は西条支部には8名でしたが、現在では16名の弁護士がいます。

弁護士には、弁護士法1条で、基本的人権を擁護し、社会正義を実現することを使命とすると定められ、その使命に基づき、誠実に職務を行い、

社会秩序の維持、法律制度の改善に努力しなければならないと規定されています。

しかし、現在では司法の世界も政府の考えで競争原理主義が導入されているので、弁護士法1条は改善されるべきだと思っています。

第15回新居浜市小中学生科学奨励賞発表会

垂 水 辰 仁



令和2年1月11日 土曜日、13時30分より、愛媛県総合科学博物館多目的ホールで開催されました。

保護者・児童生徒・教職員・一般市民で300人以上の観客が見守る中、主催の新居浜市教育委員会・新居浜ロータリークラブ・新居浜南ロータリークラブ・協賛である愛媛県科学博物館を代表し、新居浜市教育委員会教育長の高橋良光氏による開会挨拶で始まりました。

つづいて表彰式が新居浜南ロータリークラブ会長高橋千昭によりとりおこなわれました。応募作品3768点の中から選ばれた50点に、特選・優秀・入選・特別賞(特選又は優秀を5回以上受賞)の52名の生徒が表彰されました。

表彰状授与の後、特選6名による作品発表がおこなわれ、新居浜工業高等専門学校准教授の當代光陽先生より審査員講評と新居浜ロータリークラブ幹事 長岡一路による閉会挨拶で、発表会が終了いたしました。

郡山市の災害ボランティアに参加して

永 田 光 春



令和元年11月3日9時、福島県郡山市の日本大学の校庭で受付があり、私と私の長男、そして長男の友人の3人で、出張の帰りに参加しました。私達は、女性2人・男性5人の7人のチームに編成されました。

ボランティアの人であろう若い女性からオリエンテーションを15分程受けてから道具の持ち出し書類を提出し、出発しました。

土地の低い家や、幼稚園などは床上約1mの所に浸水の跡がついていました。水に浸かった住宅は住めない気がしました。

集合場所は受付場所から歩いて15分の住宅の中でした。4階建ての1階部分で、3LDKでした。

住人は、予想ではありますが、ご年配の方で、現場には立ち会いません。全てリーダーが電話でやり取りをしました。

住宅の家財道具を外に出しましたが、タンスの中には水が溜まり、4人掛かりで倒して解体しました。7人は自分の出来る事をやり、皆まじめで休みませんでした。誰も指示しないのに片付けていき、素晴らしかったです。

最後は畳です。水に濡れた畳は非常に重く50kg以上はあるように思えました。持ち上げることが出来ず、畳18枚をフックで引っ掛けて2人掛かりで床に滑らせ外に運びました。後片付けは女性が行ってくれ、手際の良さに感心しました。

災害から3週間経過しているのに異臭がしていましたが、時間が経つにつれ臭いは慣れていきました。

14時に活動が終わり、リーダー（31歳）の青年が報告書を書いて、7人の安全を確認した後解散しました。災害ボランティアの受け入れも慣れていて手際が良かったです。

ボランティア活動終了後、新幹線 郡山駅のコインロッカーの奥で着替えを済ませ、顔と手を洗いました。

今回亡くなられた方のご冥福を祈り、また、1日も早い復興・復旧を願い帰路につきました。

日本は、自然災害国、明日は我が身で自分の生

活も深く考えておく必要を感じた次第です。

令和元年11月25日

永田 光春



わが社の強み

曾 我 部 謙 一



私の会社の強みと言え、昭和20年から製造を始めた歯車を70年近く続けて製造している事である。

私共の会社は祖父の紋次郎が昭和9年に離農して丹原から新居浜へ移り住み創業した曾我部兄弟鉄工所が始まりである。

創業当時は普通の機械加工を主体とした鉄工所としてスタートした。大阪の歯車工具メーカーに勤めていた親族から、どこでも出来る事をやっているのは競争するだけになるから、人がやっていない歯車を始めたらどうかと言う事になり、歯車加工に着手することになりました。

最初のとっかかりは、住友鋳山さんから払下げされたドイツ製のホブ盤（歯車を加工する機械）を分解再組立てして使えるようにしたのが始めだったと聞いております。一般的に歯車加工の機械は普通の加工設備よりも高価で、その当時は日本の設備メーカーも少なく外国製が多かった為、中古機を整備して使っていたようです。

昭和30年代に、社内で製作販売した長尺旋盤がある建機メーカーの目に留まり、ブルドーザーの土工機を制御するユニットの受注につながりました。

昭和39年から、本格的に量産が始まり、船木地区で用地を取得して事業も徐々に拡大してゆきました。

その当時の油圧技術がかなり低かった為、土工機の制御はもっぱらワイヤーで制御されていま

した。油圧技術の高度化に伴い、油圧シリンダーによる制御に代わって来た為、ユニットの生産は昭和52年で打ち切りとなり新製品の受注に傾注するようになりました。

昭和50年ころより油圧ショベルが各社で量産されるようになりました。油圧ショベルとは、エンジンで油圧ポンプを回して油圧を発生させます。

発生した油圧を使い油圧モーターを回し走行したり回転したり、シリンダーを伸縮させ各部を駆動させる仕組みになっております。

開発された当初は、油圧モーターの回転を減速して伝達させる仕組みは平置き（順次歯車をかみ合わせて減速する）仕組みだったのですが、昭和56年位から遊星機構を用いた構造に変化してきました。減速機を中心にサンギヤがあり、その周囲に遊星歯車（プラネタリーギヤ）が何個か配置されその外にリングギヤと言うギヤが組まれます。サンギヤが回転すると遊星ギヤが回転されて減速される仕組みになっております。

ここで厄介なのが、各メーカーによって設計思想が違うため、歯車の諸元が違うという事です。

歯車の諸元で大事な項目が、モジュール（歯の大きさを表す単位）、圧力角（力を伝達する時に接触する角度）歯形形状、歯筋形状等があります。これらが各社によってすべて違うという事です。各社によって専用工具を作り、設計通りに出来ているか確認していく必要があります。

この精度を確認するには歯車試験機と言う検査設備で測定する必要があります。恥ずかしい事に

昭和56年当時に当社にはこの検査設備がなかったのです。

データを付けていなければ、納品する事が出来ません。設備導入までの一年間、丹原にあるメーカーまで持ち込み設備を借りて計測しておりました。今では考えられない事ですが…。

その頃から、歯車の精度も一段と向上して徐々に受注先も増え生産量も増加してきました。

我々が生産する歯車は機械加工後に浸炭熱処理と言う表面処理（歯車の表面に炭素を侵入させ焼き入れをして表面を固くする処理）を行います。

950度まで加熱した物を一気に200度まで冷却させるのですが、この時に膨張収縮が発生して、形状が変化します。熱処理メーカーの炉の性質により変化量が異なります。テストを繰り返し変化量を観測して前加工の形状を決めていく必要があ

ります。

これには熱処理メーカーとの信頼関係がなければ成り立ちません。近頃は試作時点である程度過去の実績から変化量を推測して前加工の精度を決める事が出来るようになりました。

これらの事は、長年歯車に特化して積上げてきた当社の宝だと思います。

又、当社の製品はメーカーとの競争が激しい所があり、納品先と仕事を取り合うという事がしばしばあります。

と言う事で、今まで辛い時代が何度かありましたが、文句を言わずついて来て技術力を磨いてがんばってくれた従業員が当社のいちばんの宝です。

この数年は、ヨーロッパのメーカーとの競争になります。この60年培ってきた技術と従業員の力でこれからの難局を乗り越えていきたいと思っています。

例会記録

R 1.12.5 (第3266回)

開会 青野会長
来客紹介 田尾親睦委員
ゲスト なし
来訪ロータリアン 今治RC 桑森ひとみ様
誕生祝 (12月)
松尾 嘉禮君 6日 小野 幸男君 10日
加藤 友久君 17日 井石 正哉君 22日
村上 正純君 30日

出席報告 近藤(基)出席委員長
幹事報告 (ホームページに掲載) 長岡幹事
各委員会の連絡事項
ニコニコ報告 副SAA
定時総会 青野会長
内部卓話 「がんゲノム医療」 鈴木誠祐会員
会員スピーチ 高橋正明会員
閉会 青野会長

R 1.12.12 (第3267回)

開会 小野(正)副会長
来客紹介 加藤親睦委員長
ゲスト なし
来訪ロータリアン なし
結婚記念祝 (12月)
高橋 英吉君 9日 難波 主憲君 11日
永田 光春君 17日
出席報告 井石(安)出席副委員長

定例理事会報告 小野(正)副会長
幹事報告 (ホームページに掲載) 長岡幹事
各委員会の連絡事項
ニコニコ報告 副SAA
2020-2021年度地区役員委嘱状授与 (桑原バストガバナー) 小野(正)副会長
国際大会出席表彰 (松尾嘉禮会員・神野勝太会員・永田光春会員・矢田義久会員) 小野(正)副会長

下期プログラム説明
クラブフォーラム

東田プログラム委員長
松田戦略計画委員長

情報雑誌
閉会

重見情報雑誌委員長
小野(正)副会長

R 1.12.19 (第3268回)

開会 青野会長
来客紹介 西岡親睦副委員長
ゲスト なし
来訪ロータリアン なし
出席報告 近藤(基)出席委員長
幹事報告 (ホームページに掲載) 長岡幹事

各委員会の連絡事項
ニコニコ報告 副SAA
会長上期回顧 青野会長
例会閉会 青野会長
会食・懇談 加藤親睦委員長
閉会 青野会長



(敬称略)

■ 12月5日

高橋 正明 12月4日から12月10日まで第71回の人権週間になっています。身近なところで人権について考えてみてもらえれば幸いです。
鈴木 誠祐 内部卓話させていただきます。つたない話ですが、よろしく願います。
高橋 正明 会員スピーチをさせて貰います。
松尾 嘉禮 満80才に明日なります。日本人の平均寿命まであと1年、頑張ります。
村上 正純 満70才になります。うれしいことはありません。ただゴルフ(へたですが)

シルバーからゴールドに変わるのだけが楽しみです。

小野 幸男 誕生日をいただきありがとうございます。
加藤 友久 ありがとうございます。最近誕生日が早く訪れます。(誕生日)
田尾 章典 また司会で失敗し、ご迷惑をおかけしました。申し訳ございません。
青野 正 会員スピーチの指名でご迷惑をかけました。
磯村 典秀 所用により早退します。申し訳ありません。

■ 12月12日

永田 光春 55年の間私を支えてくれました。チョット早いですが12月より独身に成りました。食事に気を付けて元気に明るく生活していきます。宜しく願います。
難波 主憲 花束ありがとうございます。妻も大変喜んでいました。改めて花束の効果はすごいことがわかりました。
高橋 英吉 結婚記念・バラの花送ってくださっ

てありがとうございます。何回目かは覚えておりません。

井石 正哉 知らない間に66才がきます。(22日で)最近、年令を聞かれて間違えました。こんな事なかったのに。
松尾 嘉禮 国際大会出席表彰を受けました。有難うございました。
神野 勝太 忖度だと紹介されました。国際大会出席回数5回以上という事で表彰さ

れました。

永田 光春 国際大会10回参加目標に頑張ります。皆様ありがとうございます。

矢田 義久 神野会員、松尾会員のお伴で表彰を頂ける事になりました。桑原パストガバナー及びお二人に感謝です！

小野 正師 本日、会長代理を務めます。

東田 桂典 本日、下期プログラムを発表させていただきます。よろしくお願い致します。

垂水 辰仁、高橋 英吉 (その他)

■ 12月19日

青野 正 前期6ヶ月ありがとうございました。先週の例会欠席し、ご迷惑をかけました。新年度もよろしくお願いいたします。

小野 雄史 巨漢の孫が1年3ヶ月目にして、ようやく歩きました。年越しせずに一安心です。

妻鳥 孝行 12月14日、伊予銀行のコンペでグロス20オーバーしましたが、ハンデが21.6ついて優勝しました。幸運に

恵まれるとは、こういう事を言うんだなと思いました。

西岡 圭 先日の新居浜JCゴルフコンペで優勝いたしました。上位3名が同グロス、同ハンデ、同ネットで、年令上位での優勝となりました。うれしくもありながら、年を取ったことを感じました。

山本 和宏 申し訳ありません。(バッチ忘れ)

2019 - 20年度

ニコニコ寄付金

12月合計 22件 70,000円

累計 283件 859,000円

2019－20年度の入退会者

月/日	入 会	退 会	事 業 所 名	紹 介 者
7/11	平 喜彦		三井住友建設(株) 四国支店	鈴木 誠祐
7/31		藤田 真哉	(株)伊予銀行新居浜支店	青野 正
8/31		横川 明英	東予信用金庫	青野 正
9/12	丹 一志		住友共同電力(株)	一宮 捷宏
9/12	長田伸一郎		住友化学(株) 愛媛工場	鈴木 誠祐
10/10	久米 良樹		(株)伊予銀行新居浜支店	青野 正
10/24	飯尾 泰和		東予信用金庫	青野 正
計	5名	2名		

正 会 員 数	
6月末	61名
7月末	61名
8月末	60名
9月末	62名
10月末	64名
11月末	64名
12月末	64名

おのこの物そして心の両面の10%をささげ、
世界に平和と健康をつくりだす人を一。

PHD

PEACE・HEALTH & HUMAN DEVELOPMENT

PHD箱寄付金報告 (インターアクト委員会)

12月合計額 3,779円

2019-20年度累計額 27,056円

昭和57年5月13日スタート以降の累計額 1,745,570円

編集後記

インフルエンザがやや下火になってきたと思っていたら、また中国発のいかがわしい感染症（新型コロナウイルスによる肺炎）が世界を震撼させています。マスク・手洗い・うがいを励行してください。今月の表紙は「とうどさん」です。火をつける前なので、写真が少し暗くなっています。

青野会長から上期回顧の投稿をいただきました。青野丸も折り返し地点を無事通過しました。会長の肝いりで始まった会員スピーチも大盛況で、毎回楽しく聞かせていただいています。伊東会員・藤本会員には11/22-11/24に徳島で行われた地区大会の報告をしていただきました。参加された皆様方、お疲れ様でした。健康に関する内部卓話でがんゲノム医療について話させていただきました。医療の進歩は目覚ましいものがありますが、やはりがんにならないことが一番です。がんは遺伝子の病気です。タバコなどの発がん物質で遺伝子を傷つけないように気を付けてください。会員スピーチでは村上正純会員より入会当時の当クラブの状況を、高橋会員からは弁護士の職業について話していただきました。いずれもたいへん興味深く拝聴いたしました。

垂水青少年奉仕委員長には新居浜市小中学生科学奨励賞発表会の状況を報告いただきました。2/6の外部卓話での発表を楽しみにしています。永田会員からは郡山市における災害ボランティアに参加しての感想をいただきました。ボランティア活動、お疲れ様でした。年々、自然災害の規模が大きくなっていることに不安を感じます。曾我部会員には「わが社の強み」の投稿をお願いしておきながら、掲載が遅くなって申し訳ございませんでした。曾我部鐵工所の80年に余りある歴史、70年近く続いている歯車製造の精密さ、その精度管理の難しさを感じました。ますますの発展をお祈りします。

例会場 リーガロイヤルホテル新居浜
事務所 リーガロイヤルホテル新居浜

例会日（木曜日）12:30～13:30
〒792-0007 新居浜市前田町6-9
TEL (0897) 34-6767 FAX (0897) 35-1321
ロータリー口座 伊予銀行 新居浜支店 普 4093994

会 長 青 野 正

幹 事 長 岡 一 路

表紙写真提供：新居浜市観光協会

この会報誌は環境保全・森林保護のため再生紙を利用して発刊しております。

- 発行所 新居浜ロータリークラブ 会報委員長 鈴木 誠 祐
- 印刷所 東田印刷株式会社